



ロコモニタープラス

骨・筋肉・関節の健康をモニタリング



AIの機械学習を利用して あなたの運動機能を正確に記録

日本整形外科学会が提唱する3つのロコモ度テストを、アプリ上で簡単に実施できます。さらに、歩数や座りっぱなしの時間などの活動データを24時間自動測定します。AI(人工知能)の機械学習を駆使した最先端の測定技術で、診察室では得られない客観的かつ継続的なデータを簡単に記録できます。

ロコモ度テスト (3分)

ロコモ 25

身体状態・生活状況を総合的に評価します。

立ち上がりテスト

変形性膝関節症の予防に重要な大腿四頭筋力を推定します。

2ステップテスト

歩行能力の良い指標となる歩幅を推定します。



活動データ (自動)

活動状況を自動で記録し、ロコモとの関連性を調べます。

測定項目

- ✓ 歩数
- ✓ 歩行距離
- ✓ 上った階数
- ✓ 運動時間
- ✓ 不動時間
- ✓ 心拍数
- ✓ 摂取栄養素
- ✓ 摂取カロリー
- ✓ 安静時消費カロリー
- ✓ 就寝時間
- ✓ 睡眠時間
- ✓ 心拍変動
- その他多数

あなただけの健康改善プログラムで 健康日本一を目指そう

ロコモニタープラスは回答内容を分析し、あなたに最適な健康改善プログラムを配信します。プログラムは、順天堂大学が弘前大学・立命館大学・筑波大学・京都大学と共同開発したものです。

ロコモ度の推移や、同性同世代のユーザ内でのランキングがグラフで表示されるので、健康状態の変化を一目で実感できます。



ロコモとは？

筋肉・骨・関節・軟骨といった運動器に障害が起こり、「立つ」「歩く」などの移動機能が低下した状態を「ロコモティブシンドローム (ロコモ)」といいます。患者・予備軍は、4,700 万人にのぼるとされ、日本人が要介護・要支援におちいる原因の第1位です。
(参考:ロコモ チャレンジ! 推進協議会ウェブサイト)

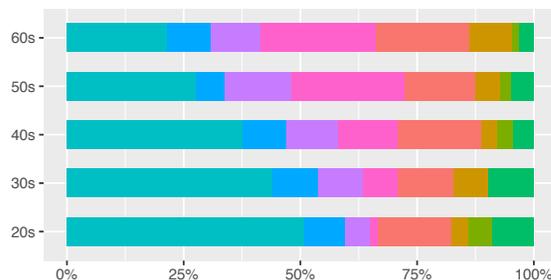


ビッグデータ解析

ロコモニタープラスを使うだけで、次世代の医学研究に貢献できます

皆さんから集まったロコモに関するビッグデータは、ロコモの実態解明や治療法開発につながる医学研究に役立てられます。ロコモニタープラスは、ロコモに関する世界最大規模の医学研究プロジェクトです。

このような医学研究は、従来は被験者の方々にも通院などの負担がかかりましたが、ロコモニタープラスはスマートフォンで完結する次世代型の医学研究です。



法人向け健康管理 Web サービス

企業・自治体・介護施設などでのロコモ対策にも対応しています

ロコモニタープラスを使えば、企業の産業医は従業員の、自治体の保健行政の担当者は地域住民の、施設のヘルパーは入所者のロコモ度データを一覧でき、健康改善プログラムの実施状況も確認できます。ロコモニタープラスを、企業の健康経営やヘルスプロモーションにご活用下さい！

管理者

- [企業] 産業医様
- [自治体] 保健担当者様
- [施設] ヘルパー様



- 個別アドバイス
- 健康増進の立案



- 健康状態データ
- 運動状況データ

ユーザ

- [企業] 従業員様
- [自治体] 住民様
- [施設] 入所者様



Web サービスの詳細は
お気軽にお問合せ下さい！

locomonitor@juntendo.ac.jp

●ロコモニタープラス 開発チーム

内藤 久士 Hisashi Naito
順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授
町田 修一 Shuichi Machida
順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授
平澤 恵理 Eri Hirasawa
順天堂大学大学院医学研究科
老人性疾患病態・治療研究センター 教授

濱田 千江子 Chieko Hamada
順天堂大学医学部腎臓内科学講座 先任准教授
石島 旨章 Muneaki Ishijima
順天堂大学医学部整形外科学講座 准教授
長尾 雅史 Masashi Nagao
順天堂大学革新的医療技術開発研究センター 助教
金子 晴香 Haruka Kaneko
順天堂大学医学部整形外科学講座 助教
吉村 祐輔 Yusuke Yoshimura
順天堂大学医学部5年

●研究責任者 順天堂大学医学部整形外科学講座 石島旨章
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 メール: locomonitor@juntendo.ac.jp

ぜひご協力ください！



ロコモニター

※ロコモニタープラスは、iOS 9.0以上が対象です。
※研究参加にはインターネット環境が必要です。